

第 92 号



人と人

発行
東村山市国際友好協会
編集：広報委員会
東村山市本町 1 - 2 - 3
東村山市役所内
☎ 393-5111 内線2558
http://www.h-ifa.com/

22年度予算と21年度決算

1. 収 入 (単位：予算は千円、決算は円)

項 目	22年度予算額	21年度決算額
会 費	1,500	1,428,000
英 会 話 講 座 収 入	2,392	2,499,000
バザー事業費	100	91,565
補助金	470	0
学生交流納入金	0	0
寄付金	10	0
繰入金	0	0
繰越金	2,049	497,172
雑収入	0	5,031
合 計	6,521	4,520,768

2. 支 出

項 目	22年度予算額	21年度決算額
会 議 費	80	11,200
消 耗 品 費	100	46,272
印 刷 費	130	19,740
渉 外 費	100	32,986
翻 訳 費	1	0
通 信 費	160	49,780
使 用 料	200	25,400
委 託 料	1	0
備 品 費	1	0
親善訪問団派遣費	1,058	77,799
学 生 受 入 費	1,090	21,235
訪 問 者 受 入 費	1	0
教 育 交 流 費	1	0
バザー費	100	100,000
英 会 話 講 座 費	1,390	1,369,974
イ市行事協力費	1	0
日 本 庭 園 協 力 費	10	0
広 報 宣 伝 費	518	431,490
研 修 費	1	0
会 員 交 流 費	340	13,810
ホームページ管理費	130	126,000
諸 支 出 金	150	145,989
積 立 金	658	0
繰 出 金	0	0
予 備 費	300	0
合 計	6,521	2,471,675

平成22年度 東村山市国



大野会長

平成22年度事業計画

- ☆会員（正会員・賛助会員）の拡充年間を通して
- ☆イ市学生親善訪問団受入事業 7月13日（火）～7月27日（火）
- ☆学生親善訪問団派遣事業 7月27日（火）～8月11日（水）
- ☆広報「人と人」の発行 7月、12月（全戸配布）、3月
- ☆市民産業まつりに参加（バザー出店）11月
- ☆役員・委員会委員研修会の実施
- ☆姉妹校への協力年間を通して
- ☆英会話講座の開講 前期4月～9月・後期10月～3月
- ☆会員交流事業
- ☆姉妹都市及び諸外国からの訪問者受入年間を通して
- ☆国際交流団体連絡協議会事業への参加年間を通して
- ☆災害時ボランティアの派遣年間を通して

大野会長の挨拶のあと来賓のご紹介とご挨拶があり、引きつづいて議事に入りました。
まず平成21年度の事業報告と会計決算及び監査報告が行なわれました。昨年は新型インフルエンザ流行の影響を受けイ市学生親善訪問団受入事業と当市からの学生親善訪問団派遣事業が共に延期となったため委員会間

に活動のばらつきが生じました。しかし、一方で会員間の交流機会を増やし親睦を深めるための新たな企画も持たれました。
続いて平成22年度の事業計画と会計予算案が上程されいづれも原案どおり承認されました。
今年度前半の大きな事業として位置付けられている学生親善訪問団の受入と派遣の準備が順調に進められております。今年度は延期を余儀なくされた昨年の分まで密度の濃い思い出深い国際交流の機会にしたいものです。



総会風景

5月29日、市民センター二階において、多数のご来賓と会員の出席のもと、総会が開催されました。

総会開く

そのためには、より多くの会員が関心を持って支援しましょう。また、予算面では昨年に引き続いてホームページ管理費が計上されました。当協会のホームページは年々充実が図られております。会員用としてだけでなく一般の方に対し当協会を広くPRする手段として更なる内容の充実を図れば会員増強につな

がることも期待できます。是非、当協会のホームページを一度ご覧ください。
なお、総会終了後には会員交流委員会の準備のもと懇親会が和やかに行われ、その席で国際交流に貢献されたとして、市民表彰を受けた川合萬次郎氏に協会から花束が贈られました。



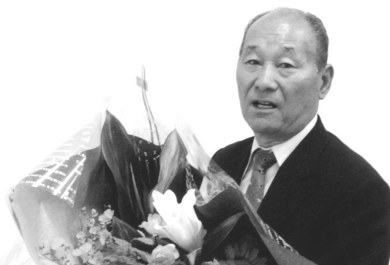
懇親会

市民表彰

平成22年度東村山市功労表彰式（市民表彰・特別自治功労表彰）が4月24日いきいきプラザで行われました。当協会からは日本庭園協力委員会の川合萬次郎氏（写真）が表彰されました。同委員会はイ市の二カ所に日本庭園を造園し、以来度々イ市を訪問して庭園の手入れや指導を行ってきました。

また当市役所周辺に記念植樹や記念碑を建立し、両市の姉妹都市交流の「あかし」を残す活動をして居ります。

（広報委員会）



川合萬次郎氏

後期講座よりクラス分け名称を改めレベル(I)レベル(II)と致します。詳細は9月1日付市報またはホームページをご覧ください。グordon講師には5年連続勤



感謝状授与式

会費納入のお願いと 会員募集

本年度は、イ市より12名の学生親善訪問団員が当市を訪れます。さらにイ市訪問団員の帰国に合わせ当市の学生親善訪問団員9名が同一便でイ市を訪れます。このような市民交流を通して相互の理解がより深まるような事業ができますことに多くの市民及び会員の皆様のご支援の賜物であると感謝致しております。

今年も7月末までを目途に、担当者が皆様のお宅に会費の集金に伺いますのでよろしくご協力いただきたくお願い申し上げます。引き続き会員の募集も行なっておりますので当協会までお気軽にお問合せください。
（会員拡充委員会）

務を称え開講式において感謝状・記念品を贈呈致しました。なお、感謝状は欧米風に制作されております。

経験豊かな委員の総力で今年も順調に進めて参ります。

（英会話委員会）

久米川駅北口駅前広場 完成記念イベントに参加

3月28日に開催された式典は東村山市長やフレッシュ久米川楽市実行委員長などの挨拶に引き続き、広場にてテロプカットの後、お祭りは開始されました。当協会は東村山市国際交流三団体と共同で出店しました。交流委員会委員が手づくりしたキヤンディーレイは大変好評で午前中に完売でした。
会場では和太鼓、フラダンス、太極拳、花笠音頭、東村山音頭、ヒップホップダンスなどが披露されました。

2010年イ市訪問団受入日程		
日 時	行 事	備 考
13日(火)	到着 ウエルカムセレモニー	AA153便 15:35成田着 市役所で出迎え
14日(水)	午前中フリー 市内めぐり	消防署・多摩湖・正福寺・ふるさと歴史館
15日(木)	姉妹校訪問	回田小・二中
16日(金)	ディズニールランド	
17日(土)	夕方までフリー ウエルカムパーティー	市民センター2F(参加費1,000円)
18日(日)	ファミリーデー	
19日(月祝)	交流会	バーベキュー、 久米川幼稚園(参加費2,000円)
20日(火)	都内めぐり	都庁・原宿
21日(水)	日本文化体験	茶道・華道・弓道
22日(木)	日光見物	
23日(金)	市長主催ランチ	
24日(土)	ファミリーデー	
25日(日)	ファミリーデー	
26日(月)	ファミリーデー	
27日(火)	帰国	AA176便 11:30成田発

イ市学生訪問団・ホストファミリー				
No	氏 名	性別	年 齢	ホストファミリー
1	Shayla Jarman	女	16	定方 利勝(久米川町)
2	Marie Mader	女	17	櫻井 康博(宋町)
3	Dana Master	女	18	高島 吉昭(秋津町)
4	Elizabeth Polina	女	17	伊藤 克夫(廻田町)
5	Anna Price	女	16	橋 和順(恩多町)
6	Austin Snethen	女	15	古川 洋之(恩多町)
7	Emily Tanner	女	18	大浦 洋永(野口町)
8	Miriam Vanoni	女	18	津留 信二(恩多町)
9	Alexandria (Alyssa) Wilt	女	17	三浦 大輔(萩山町)
10	Emily Collins	女	引率者	宮澤 一枝(萩山町)
11	Alreda Adams	女	中学校教員	當摩 照夫(多摩湖町)
12	Jeannae Segura Brown	女	姉妹都市委員長・教員	小山 邦昭(野口町)

《イ市学生訪問団》

今回は当市の派遣生たちと、帰国する学生訪問団は同じ飛行機でイ市へ向かいます。これまで以上に両市の学生たちが仲良くなり、互いに信頼できる友人になって欲しいものです。

昨年は新型インフルエンザ流行のため交流が延期、一昨年は30周年で学生の交流がない年であったため、今年は3年ぶりの学生訪問団受入れとなります。30周年の親善訪問のとき、当市とイ市の関係者の間で今後の交流のあり方について意見交換を行いました。その結果、訪問・

派遣の時期を従来の6月から7月に変更、滞在期間を3週間から2週間に短縮することが決まりました。今回が初めての実施となります。今年には9名の訪問学生全員が女子で、引率者の他に二中と姉妹校交流を始めたイ市のパイオニア・リッジ中学校の先生、そしてイ市姉妹都市委員会委員長の大人3人が来市します。引率

者のエミリー・コリンズさんは'94年に訪問団員として来市しています。今年の訪問学生のひとり、アンナ・プライスさんは'84年に引率者として来市したテリ・プライスの娘さんです。両市の30年にわたる交流の歴史を物語るものです。会員の皆様、



一泊研修の派遣生たち

第28回親善訪問派遣団員				
	氏 名	年 齢	性 別	住 所
1	谷口 弘美	引率者	女	野口町
2	酒井 美菜	16	女	青葉町
3	鎌形 采可	16	女	萩山町
4	金子 颯人	15	男	美住町
5	高橋 雅美	15	女	萩山町
6	森山 真平	16	男	美住町
7	山口 桜花	15	女	久米川町
8	梅原梨々子	19	女	青葉町
9	久保田 歩	17	女	久米川町

《当市学生派遣団》

今年の派遣生は、谷口弘美さん(東村山第二中学校英語教諭)を引率者として男子2名女子6名の総勢9名に決まりました。4月24日(土)〜25日(日)に「高尾の森わくわくビレッジ」にて派遣生一泊研修を行いました。大野会長をはじめ、派遣委員会の委員も参加しました。

研修内容は、実践英語話レッスン2回(講師・平野万理先生)と当協会の歴史や訪問時の心構えなどでした。英会話は、ユーモアに溢れ大変わかりやすい内容で好評でした。和やかな雰囲気の中有意義な研修でした。(派遣委員会)

市民交流

私の家に'01年に姉のアマンダが、5年後に弟のカイルがホームステイしました。

今回は、二人の祖母、母を含め四人で来日しました。祖母は日本人で、妹さんが仙台と府中に住んでおり、そちらに訪問することが目的でした。たまたまイ市で交流のあった伊藤陽子さんと二人で府中で会いに行ってきた。現在カイルは大学生に、アマンダは24才の美しいレディーに成長していました。カイルが持参したパソコンの中の懐かしい写真を見ながら楽しい一時を過ごすことが出来ました。今回の再会や旅のことを、カイル君が寄稿してくれました。

その翻訳は伊藤陽子さんにして頂きました。(武田節子)

◇ ◇ ◇ ◇

'06年に訪問団員として東村山を訪問した私は、今回また日本へきて異なった経験ができるもの、思いでわくわくしていました。

前回の異文化体験では、小学校の訪問、市の消防署など見学した物すべてが珍しかったです、



アマンダ(後列左)とカイル(後列左から2人目)と一緒に

「あの人は今」

中川 香

今回の旅で、この数年間で変化した日本の姿を見聞出来てうれしかったです、最も素晴らしい経験は私達が育んだ友情でした。(カイル ダニング)

'04年に第22回イ市学生訪問団員として来市されたマロリー・フィリピンさんが、この4月から仙台市にある明泉アカデミーで英語の先生として働いています。この幼稚園は独自の英語保育が有名で、1クラスに保育担任と英語担任がいます。卒園後小・中学校と引き続き英語の授業を受け続けることができるシステムがあります。現在は寮に住んで自炊生活です。先日東村山市に来市された当時の友人たちと楽しい時間を過ごしました。そこで幾つか質問してみました。

Q いつ頃日本で働く決心を?

A 日本で働くことと決めたのは昨年5月に大学を卒業した時です。

Q 日本に何回来ていますか?

A 6年前に学生訪問団で来ただけですが、日本が好きになり日本でも暮らしたいと願うきっかけになりました。

Q 日本以外で訪れた国は?

A 英国、アイルランド、南アフリカ、グアテマラ、タイです。

今年の休暇は豪州へ行く予定です。Q 何歳児を教えていますか?



マロリーさん(左から2人目)を囲んで

お知らせ

◆市の組織変更および定期異動により、国際・男女共同参画課から生活文化課になりました。

井上前課長の代りに中村眞治氏、原子課長補佐は、市民相談係長兼務へ、事務局直接担当は渡部明係長が着任しました。

◆当協会広報紙「人と人」のデジタル保存化に伴い、これまでのバックナンバーの在庫を処分いたします。ご希望の方は直接事務局へ7月30日(金)までにお申し出ください。

※部数に限りがありますので、先着順になります。

編集後記

3年ぶりにイ市からの学生受入れと、当市からの派遣生の交流が行われます。無事に親善交流が行われることを願っています。



花みずきコーナー

今年も桜まつり(The Cherry Blossom Festival)が4月11日(日)に開催されました。イ市広報担当のハンコック(Gerald Hancock)さんから下記のような連絡を頂きました。

桜まつりの行事としてサーモン コミュニティー センターでは姉妹都市のイベントが行われました(写真)。

当日はライマル市長ご夫妻もお出でになり、総入場者数は600人以上と盛況でした。その様子は当協会HPからもご覧頂けます。

会場では日本舞踊、剣道、合気道の披露、盆栽、東村山市からの贈り物などの展示、姉妹校グレンデール小の日本クラブの絵画、工作展示、日本アニメの上映、日本料理や飲み物などの販売が行われました。

特にRosie's Caféの日本料理は美味しく直ぐ売切れました。(広報委員会)

